

第1回「ぐるりんこ京北」ワークショップ 要旨

1 日時 平成23年8月26日（金）

2 場所 京北合同庁舎2階大会議室

3 内容（○は主な意見。◆は確定事項）

（1）マップについて

- 高低差が分かるような工夫が必要
- 京北には、鮎など季節ごとにリピーターが付いている。四季を通じてそれぞれの季節ごとに魅力があるので、年間を通じて使えるようなマップにした方が良い。

（2）イベントについて

ア コース設定

- 今回はポタリング（自転車でのさんぽ）とすると、色々な物を見たり、食べたり、買い物したりしながら京北地域を楽しんでもらうことになるだろう。
- ポタリングの場合は、時速10km程度である。昼食等を除いて2時間程度で回るとすれば、コースの長さは、20km程度で良いのではないか。
- イベントには、紅葉を求めて、中高年の方も多く参加されるのではないか。
- 宇津峡、常照皇寺ももみじがきれいである。
- 京北地域は紅葉のスポットに乏しいため、紅葉を前面に出せるコース設定は難しい。
- 味覚も京北の魅力である。

イ 仕掛け

- 各地域に案内人があった方が人とのふれあいがあって楽しい。
- 体験をつけてイベントを総合的に盛り上げると面白いのではないか。

ウ 考慮事項

- 高雄の紅葉の時期なので渋滞が起きている可能性がある。
- 時雨れるかもしれない。途中棄権の可能性も踏まえ、回収用バスとトラックが必要かもしれない。
- 駐車場は近い方が良い。
- 参加者にも主体性を持ってもらう必要がある（参加者は、仮マップ

のモニターという側面ももっているのだ)。

エ 参加者に対して

- 11月は寒い日もあるし、参加者自身に、手袋、防寒具を自分で用意してもらう。
- 時雨れることもあるので、かっぱ等の用意を呼び掛ける。
- 今後継続して実施するのであれば、着がえを車内でしてもらう等、参加者自身で着替え場所の確保や貴重品の管理をしてもらわなければならない。

オ イベント名

- 京北の魅力は、田・川・山である。
- 主体性を感じさせる「風になれ」というイメージを持たせては。
- ポタリングのイメージも必要である。
- ◆ ぐるりんこ京北2011～自転車さんぽで感じる秋の京北～

カ 参加費

- 収穫祭では料金の徴収をしていないが、イベント参加者にも収穫祭での京北鍋のふるまいは方法によって実施できそうである。
- レンタサイクル料は別料金の方がいいのではないか。
- ◆ 参加費は2,000円とする。

(3) 実施主体

- ◆ 「ぐるりんこ京北実行委員会」を立ち上げ、実行委員会で実施する。